

平成19年3月期 第3四半期連結決算概要

1. 業績概要

注: 億円未満切捨て
(単位: 億円)

項目	当第3四半期 (H18. 4~H18. 12)	前年第3四半期 (H17. 4~H17. 12)	増減
売上高	4,801	4,335	466
営業利益	314	306	8
金融収支	△ 47	△ 43	△ 4
持分法投資損益	15	12	2
その他営業外損益	12	△ 16	29
経常利益	295	259	36
特別損益	△ 50	△ 49	△ 1
四半期純利益	151	127	24
1株当たり四半期純利益	15円08銭	13円59銭	1円49銭

項目	当第3四半期 (H18. 4~H18. 12)	前年第3四半期 (H17. 4~H17. 12)	増減
為替レート(円/\$)	116.2	112.1	4.1円安
ナフサ価格(円/KL)	*1 50,300	41,100	9,200
豪州炭価格(円/t)*2	8,599	8,576	23

*1 見込値、*2 CIF価格

2. セグメント別 売上高・営業利益

(単位: 億円)

項目	セグメント	当第3四半期 (H18. 4~H18. 12)	前年第3四半期 (H17. 4~H17. 12)	増減
売上高	化成品・樹脂	1,533	1,281	252
	機能品・ファイン	649	651	△ 2
	建設資材	1,559	1,432	126
	機械・金属成形	814	704	110
	エネルギー・環境	215	235	△ 20
	その他	29	29	0
	合計	4,801	4,335	466
営業利益	化成品・樹脂	82	114	△ 32
	機能品・ファイン	81	76	4
	建設資材	84	70	14
	機械・金属成形	41	24	16
	エネルギー・環境	18	16	1
	その他	6	4	2
	消去	0	△ 1	1
	合計	314	306	8

カゴロクタム/合成ゴム 数量増
アルミ電極箔事業撤退、機能性材料 数量増
生コン出荷増、生石灰関連製品売上増
成形機/産機 売上増
石炭販売減

カゴロクタム/ナイロン樹脂 スプレッド (製品と原料の値差)縮小、燃料コスト増
機能性材料 数量増
廃棄物処理収入増、セメント価格は正
成形機/産機 売上増、アルミロール 数量減/カゴドル高

3. 財政状態

(単位: 億円)

項目	当第3四半期末 (H18. 12末)	前期末 (H18. 3末)	増減
総資産	7,214	7,004	210
有利子負債 (純有利子負債)	3,392 (3,201)	3,419 (3,218)	△ 26 (△ 16)
純資産 (うち自己資本)	1,850 (1,634)	注 1,497	(136)

受取手形及び売掛金増
社債償還
四半期純利益増、支払配当金

注: 前期末純資産は従来の株主資本を記載しており、当第3四半期末自己資本と比較可能です。

【参考】通期業績予想

平成18年5月11日に発表した業績予想数値を修正しております。

(単位: 億円)

項目	平19年3月期 (今回)	平18年3月期	増減
売上高	6,500	5,953	547
営業利益	430	421	9
経常利益	370	332	38
当期純利益	190	160	30

平19年3月期(前回) (H18. 5. 11発表)	増減
6,150	350
410	20
320	50
180	10

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位: 億円)

項目	セグメント	平19年3月期 (今回)	平18年3月期	増減
売上高	化成品・樹脂	2,113	1,758	355
	機能品・ファイン	887	892	△ 5
	建設資材	2,008	1,924	84
	機械・金属成形	1,141	1,024	117
	エネルギー・環境	314	314	0
	その他	37	38	△ 1
	合計	6,500	5,953	547
営業利益	化成品・樹脂	130	149	△ 19
	機能品・ファイン	113	109	4
	建設資材	113	97	16
	機械・金属成形	44	37	7
	エネルギー・環境	24	23	1
	その他	6	5	1
	合計	430	421	9

平19年3月期(前回) (H18. 5. 11発表)	増減
1,877	236
925	△ 38
1,949	59
1,063	78
299	15
37	0
6,150	350
122	8
127	△ 14
98	15
34	10
23	1
6	0
410	20

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19年 2月 7日

(コード番号：4208 東証第1部・福証)



上場会社名 **宇部興産株式会社**

(URL <http://www.ube.co.jp>)

代 表 者 代表取締役社長 田村 浩章

問合せ先責任者 I R 広報部長 泉原 雅人 TEL (03) 5419 - 6110

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

法人税等の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
(内容)

連結 (新規) 3社 持分法 (新規) 1社 (除外) 2社

2. 平成19年3月期 第3四半期の財務・業績の概況 (平成18年4月1日 ~ 平成18年12月31日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期 第3四半期	480,174	10.8	31,480	2.8	29,532	14.0	15,178	18.8
18年3月期 第3四半期	433,541	3.9	30,609	48.4	25,916	107.6	12,774	97.8
(参考) 18年3月期	595,391	5.8	42,169	30.5	33,254	40.7	16,006	73.5

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期 第3四半期	15 08	14 48
18年3月期 第3四半期	13 59	12 73
(参考) 18年3月期	16 83	15 93

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期 (平成18年4月1日から平成18年12月31日まで) の事業環境は、原燃料価格の高止まりによりコスト面で大きくマイナス影響を受けましたが、アジア・国内経済が好調に推移したため、需要面では総じて堅調でした。このような状況下、当社の業績は前年同四半期に比べ大幅な増収となり、利益についても、営業、経常、四半期純利益とも増益となりました。

売上高は化成品・樹脂、建設資材、機械・金属成形の3セグメントで出荷の好調などにより大きく増加したため、前年同四半期比466億円 (10.8%) 増の4,801億円となりました。営業利益は原燃料価格高騰の影響を受けましたが、機械事業の出荷好調など主として数量要因によりカバーし、前年同四半期比8億円 (2.8%) 増の314億円を確保しました。経常利益は営業利益増に加え、タイ国子会社における為替差益などにより、前年同四半期比36億円 (14.0%) 増の295億円となりました。四半期純利益も経常利益増により24億円 (18.8%) 増の151億円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

① 化成品・樹脂セグメント

売上高は、カプロラクタムや合成ゴムの出荷が、中国を中心とするアジアの旺盛な需要に支えられて好調に推移したこと、また円安の影響により海外取引高が増加したこと等により、前年同四半期比252億円 (19.7%) 増の1,533億円となりました。営業利益につきましては、数量要因による増益があったものの、カプロラクタム、ナイロン樹脂製品のスプレッド縮小や重油等エネルギーコストの上昇等により、前年同四半期比32億円 (28.3%) 減の82億円となりました。

② 機能品・ファインセグメント

売上高は、リチウムイオン二次電池用電解液・セパレータや、ガス分離膜等、機能性材料製品の出荷は増加しましたが、アルミ電極箔事業からの撤退により、前年同四半期比2億円(0.4%)減の649億円となりました。営業利益につきましては、機能性材料製品の数量要因等により、前年同四半期比4億円(5.9%)増の81億円となりました。

③ 建設資材セグメント

売上高は、民需の好調などによる生コンの出荷増や生石灰関連製品の売上増等により、前年同四半期比126億円(8.8%)増の1,559億円となりました。営業利益につきましては、石炭等エネルギーコスト上昇の影響を、セメント輸出価格上昇及び国内価格是正の進展、廃棄物処理収入増等によってカバーし、また生石灰関連製品の増収効果もあって、前年同四半期比14億円(20.8%)増の84億円となりました。

④ 機械・金属成形セグメント

売上高は、自動車産業向けダイカストマシンや中国市場向けの堅型ミル等機械製品の出荷好調により、前年同四半期比110億円(15.6%)増の814億円となりました。営業利益につきましては、アルミホイール事業が、北米拠点での販売数量減やカナダドル高の影響等により減益となったものの、機械製品の売上高増による増益額が大きく、前年同四半期比16億円(69.8%)増の41億円となりました。

⑤ エネルギー・環境セグメント

売上高は、輸入石炭の販売数量減等により、前年同四半期比20億円(8.6%)減の215億円となりました。営業利益につきましては、電力卸供給事業用の石炭火力発電所において木質バイオマス燃料の混焼を開始しましたが、これによる収益改善効果等により、前年同四半期比1億円(9.5%)増の18億円となりました。

⑥ その他のセグメント

売上高は前年同四半期並みの29億円となりました。営業利益につきましては、前年同四半期比2億円(44.4%)増の6億円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期 第3四半期	721,445	185,075	22.7	162 38
18年3月期 第3四半期	711,823	124,394	17.5	132 29
(参考) 18年3月期	700,437	149,763	21.4	148 71

(注)18年3月期第3四半期及び18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

〔財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期末の総資産は前期末に比べ、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加等により、流動資産が249億円増加し、また投資その他の資産の減少等により固定資産が39億円減少した結果、差し引き210億円増の7,214億円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金が68億円増加する一方、有利子負債が26億円減少したことなどにより、42億円増加し5,363億円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加121億円、為替換算調整勘定の増加41億円、少数株主持分の増加30億円、その他有価証券評価差額金の減少24億円などにより、167億円増加(前期末の比較数値は資本の部と少数株主持分の合計)し、1,850億円となりました。

【参考】平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
通 期	650,000	43,000	37,000	19,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 18円88銭

平成18年5月11日に発表した業績予想数値を修正しております。

当該内容につきましては、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照下さい。

上記業績予想は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により予想と大きく異なる場合もありますことをご承知願います。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		前期末 (平成18年3月31日現在)		増減 金 額	前第3四半期末 (平成17年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	金 額
(資 産 の 部)		%		%			%
I 流 動 資 産	293,525	40.7	268,559	38.3	24,966	282,450	39.7
現金及び預金	19,358		20,623		△ 1,265	22,461	
受取手形及び売掛金	162,128		147,823		14,305	147,965	
たな卸資産	86,920		81,459		5,461	90,129	
その他	25,119		18,654		6,465	21,895	
II 固 定 資 産	427,914	59.3	431,870	61.7	△ 3,956	429,360	60.3
有形固定資産	358,520		357,519		1,001	353,475	
無形固定資産	4,115		4,812		△ 697	4,754	
投資その他の資産	65,279		69,539		△ 4,260	71,131	
III 繰 延 資 産	6	0.0	8	0.0	△ 2	13	0.0
資 産 合 計	721,445	100.0	700,437	100.0	21,008	711,823	100.0
(負 債 の 部)							
I 流 動 負 債	320,524	44.4	291,293	41.6	29,231	315,976	44.4
支払手形及び買掛金	103,918		97,070		6,848	103,498	
短期借入金	158,817		123,951		34,866	147,385	
一年以内に償還予定の社債	1,650		14,460		△ 12,810	14,480	
その他	56,139		55,812		327	50,613	
II 固 定 負 債	215,846	29.9	240,781	34.4	△ 24,935	253,391	35.6
社 債	1,190		2,520		△ 1,330	2,620	
転換社債	19,898		19,898		—	19,898	
長期借入金	157,695		181,117		△ 23,422	192,802	
退職給付引当金	8,597		10,118		△ 1,521	10,476	
その他	28,466		27,128		1,338	27,595	
負 債 合 計	536,370	74.3	532,074	76.0	4,296	569,367	80.0
(純 資 産 の 部)							
I 株 主 資 本	151,196	21.0	—	—	—	—	—
資 本 金	58,399	8.1	—	—	—	—	—
資本剰余金	28,336	3.9	—	—	—	—	—
利益剰余金	64,829	9.0	—	—	—	—	—
自己株式	△ 368	0.0	—	—	—	—	—
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	12,225	1.7	—	—	—	—	—
その他有価証券評価差額金	9,095	1.3	—	—	—	—	—
繰延ヘッジ損益	△ 97	0.0	—	—	—	—	—
再評価積立金	340	0.0	—	—	—	—	—
為替換算調整勘定	2,887	0.4	—	—	—	—	—
III 少 数 株 主 持 分	21,654	3.0	—	—	—	—	—
純 資 産 合 計	185,075	25.7	—	—	—	—	—
負 債 純 資 産 合 計	721,445	100.0	—	—	—	—	—
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	—	—	18,600	2.6	—	18,062	2.5
(資 本 の 部)							
I 資 本 金	—	—	58,399	8.3	—	48,565	6.8
II 資 本 剰 余 金	—	—	28,294	4.0	—	18,494	2.6
III 利 益 剰 余 金	—	—	52,708	7.5	—	49,466	6.9
IV 再 評 価 積 立 金	—	—	365	0.1	—	488	0.1
V その他有価証券評価差額金	—	—	11,588	1.7	—	10,797	1.5
VI 為 替 換 算 調 整 勘 定	—	—	△ 1,265	△ 0.2	—	△ 3,098	△ 0.4
VII 自 己 株 式	—	—	△ 326	0.0	—	△ 318	0.0
資 本 合 計	—	—	149,763	21.4	—	124,394	17.5
負債、少数株主持分及び資本合計	—	—	700,437	100.0	—	711,823	100.0

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期	前第3四半期	増減	前期
		(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売 上	高	480,174	433,541	46,633	595,391
売 上	原 価	389,459	347,127	42,332	474,997
売 上	総 利 益	90,715	86,414	4,301	120,394
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		59,235	55,805	3,430	78,225
営 業	利 益	31,480	30,609	871	42,169
営 業	外 収 益	9,910	7,874	2,036	9,936
営 業	外 費 用	11,858	12,567	△ 709	18,851
経 常	利 益	29,532	25,916	3,616	33,254
特 別	利 益	2,156	400	1,756	701
特 別	損 失	7,181	5,309	1,872	7,321
税金等調整前四半期(当期)純利益		24,507	21,007	3,500	26,634
法 人 税 等		8,478	7,649	829	9,665
少 数 株 主 利 益		851	584	267	963
四 半 期 (当 期) 純 利 益		15,178	12,774	2,404	16,006

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	化成品・樹脂	機能品・ファイン	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	153,379	64,943	155,917	81,424	21,547	2,964	480,174	—	480,174
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,783	1,233	2,705	826	6,679	869	18,095	(18,095)	—
計	159,162	66,176	158,622	82,250	28,226	3,833	498,269	(18,095)	480,174
営業費用	150,934	58,026	150,132	78,121	26,401	3,179	466,793	(18,099)	448,694
営業利益	8,228	8,150	8,490	4,129	1,825	654	31,476	4	31,480

前第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	化成品・樹脂	機能品・ファイン	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	128,120	65,192	143,263	70,417	23,584	2,965	433,541	—	433,541
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,367	122	2,778	585	6,024	739	15,615	(15,615)	—
計	133,487	65,314	146,041	71,002	29,608	3,704	449,156	(15,615)	433,541
営業費用	122,009	57,621	139,010	68,570	27,942	3,251	418,403	(15,471)	402,932
営業利益	11,478	7,693	7,031	2,432	1,666	453	30,753	(144)	30,609